

# 神奈川県立伊勢原高等学校(定時制) グランドデザイン

## スクール・ミッション

- 定時制の課程(学年制普通科)を設置する高校として、生徒の多様な特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現にできるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 心身ともに健全な人格の完成に向けて、地域社会に貢献できる人材の育成をめざし、学びに向かう力、コミュニケーション能力等、これからの社会に求められる資質・能力を育成するための教育に取り組む。
- 主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力を育成することができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

## 学校教育目標

- 多様な情報を活用して自己の価値観を形成し、表現力豊かなコミュニケーション能力を持つ「自立した大人」の育成をめざす。
- 深い知性と豊かな教養を身につけ、新たなものを生み出す発想力を鍛え、自ら課題を発見し解決する力を持つ社会に貢献できる人材を育成する。
- 多様性を個性・特性として理解し、社会性、公共性、優しさを身につけた共生社会に貢献する人材を育成する。

## グラデュエーション・ポリシー

- ～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～
- 自ら課題を発見し、解決しようとする力
  - 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、他者と協働して課題を解決していく力
  - 友愛の精神で郷土を愛し、地域社会に貢献する力

## カリキュラム・ポリシー

- ～本校ではこのような学びを行います～
- 定時制の課程、学年制普通科の高校として、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立をめざした幅広い科目を設置します。
  - 生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現にえられるよう少人数での授業を実践します。
  - 学校行事において学年を超えた集団の中で、自分で考えて行動することや、周囲の仲間を尊重し物事を進めていくことで、コミュニケーション能力などのソーシャルスキルを向上させていくとともに、地域社会に貢献する精神を培います。

## アドミッション・ポリシー

- ～本校ではこのような生徒を求めています～
- 学業に意欲を持って取り組み、自己実現を図る意欲のある生徒
  - 中学校における教科外活動を基盤として、学校行事、生徒会活動、部活動等において、他人の意見や様々な価値観を受け入れ積極的に取り組もうという意欲のある生徒
  - 中学校における教科外活動を基盤として、社会で求められる資質・能力を身に付け、地域の発展に貢献したいという意欲のある生徒

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目 標	① 少人数クラスで多様な生徒が学ぶ夜間定時制の特性を生かし個々に目を向けた授業を実践するために、主体的・対話的な学びのある授業を展開して、生徒一人ひとりに対するきめ細やかな指導を行う。 ② ICTの活用等を通して個別最適化の学びを推進し、生徒の学習意欲を高め基礎学力の醸成を図る。	① 共生教育の実現、より高い人権意識の醸成をし、外部機関との連携を図りながら組織的な支援体制を構築して、心身ともに健全な学校生活を送れるよう支援する。 ② 生徒が社会的職業的に自立し、社会で必要とされる人材となることができるよう、家庭との連携を図り自立を支援する。	① 将来のイメージを明確化し主体的に準備して自己理解を深めて希望進路の実現ができるよう支援する。 ② 個々の生徒の進路実現に向け、一人ひとりのニーズに合わせた進路情報を提供し支援して、希望進路の実現に向けた主体的な姿勢を育むために、様々な経験をする機会を充実させる。	① 生徒の社会的自立を促し社会性の向上を図るため、地域の教育力を活かすなど協働の機会を増やし、地域に開かれた魅力ある学校をめざす。 ② 広報活動を継続的に実施し、積極的に外部へ定時制の魅力を発信する。	① 組織的に教職員の教育公務員としての意識向上を図り、職場内でのチェック体制を強化する。 ② 多様な主体との連携・協働を図り生徒が防災教育に主体的に取り組むとともに、防災に対する知識を高め、意識の醸成を図る。
主な方策	・個々が着実に基礎学力を身に付けられるよう、対話を通して一人ひとりの生徒に注目し、ICT等を活用して、生徒が主体的に授業に参加し自らを表現できるような授業改善を推進する。 ・個々の生徒への学習支援体制を確立するため、基礎講座の充実、補習等の支援体制を推進する。	・生徒間の多様性への理解をさらに進め、思いやり教育を推進する。 ・SCやSSWの活用など外部機関と連携構築し、組織的な教育相談体制を確立する。支援が必要な生徒についての情報を集め共有し、支援計画を策定する。 ・家庭との連携を密にし、個々の生徒の特性を理解したうえで、ケース会議等で情報を共有して個に応じた支援をする。	・生徒の進路への準備状況に対応した段階的な支援計画を構築する。 ・個々の状況に応じた的確な情報提供ができるよう、外部機関との連携を図りながら、ニーズに応じた支援をする。 ・学校行事、各種講演、社会体験、ボランティアなど、幅広い体験や、自ら考える機会を設け、主体的な社会貢献ができる人材を育成する。	・地域との交流場面を増やして、人間性、社会性の向上を図るとともに、地域貢献の意識を醸成する。 ・HP等を用いて情報をスピーディーに発信し、開かれた学校づくりをめざす。	・定期的な不祥事防止会議を開催し、研修を実施して、不祥事防止に向けた組織的なチェック体制を強化する。 ・地域自治体と防災訓練の連携、協働を図り、DIG訓練、防災訓練を通して災害時に主体的に行動できる力を育成する。

## 校訓・沿革・伝統

- 昭和3年5月21日 私立伊勢原実科女学校として伊勢原町伊勢原大福寺において開校する
- 昭和23年4月1日 学制改革により神奈川県立伊勢原高等学校と改称 定時制の課程(夜間)を併置
- 平成30年11月22日 創立90周年記念式典挙げる
- 校訓「自立」「友愛」

## 特色のある学校行事等

- 「ICT利活用授業研究推進校」として、ICTの導入を推進します。
- 「D&Iコンセプト※」のもと、共生教育を実現し、共生社会の担い手を育成します。 ※D:Diversity(多様性)、I:Inclusion(包括性)
- 「主体的・対話的で深い学び」を推進し、自分の考えをしっかりと持ち、発信することのできる力「生きる力」を育成します。
- 定時制と全日制が協力して文化祭を実施しています。